

第4回 第9次島田市高齢者保健福祉計画等策定委員会 会議録

日 時 令和2年12月10日(木) 午後7時00分から午後8時00分まで

会 場 島田市保健福祉センター 研修室

出席者 <委員>

- | | | |
|----|--------------------------|-------------|
| 1 | 学識経験者 | 山城 厚生(委員長) |
| 2 | 島田市民生委員・児童委員協議会 | 長野 恭子(副委員長) |
| 3 | 榛原歯科医師会 | 佐塚 仁一郎 |
| 4 | 島田薬剤師会 | 村松 義文 |
| 5 | 静岡県理学療法士会 | 小原 智永 |
| 6 | 島田市保健委員協議会 | 杉山 裕見子 |
| 7 | 島田市自治会連合会 | 増田 文男 |
| 8 | 島田市社会福祉協議会 | 杉本 優子 |
| 9 | 第三小学区地区社会福祉協議会 | 柴田 伸二 |
| 10 | 島田市シニアサポーター協議会 | 伊熊 正勝 |
| 11 | 特別養護老人ホーム「ひぎり」 | 小山 正晃 |
| 12 | 小規模多機能型居宅介護事業所「あったか広場一会」 | 曾根 寿弘 |
| 13 | 島田市老人クラブ連合会 | 太田 みち子 |
| 14 | 介護相談員 | 寺川 百合子 |

<事務局>

- | | | |
|----|---------------|-------|
| 1 | 健康福祉部長 | 畑 活年 |
| 2 | 長寿介護課長 | 三浦 隆広 |
| 3 | 包括ケア推進課長 | 酒井 敏弘 |
| 4 | 包括ケア推進課課長補佐 | 太田 佳宏 |
| 5 | 長寿介護課高齢者政策係長 | 杉村 亮 |
| 6 | 長寿介護課認定指導係長 | 河西 智里 |
| 7 | 包括ケア推進課地域支援係長 | 畑中 陽子 |
| 8 | 包括ケア推進課連携推進係長 | 守谷 佳子 |
| 9 | 長寿介護課書記 | 藤田 育子 |
| 10 | (株)ぎょうせい 研究員 | 若松 海 |

1 開会

- ・資料確認（①次第、②資料1 介護保険の仕組みについて、③資料2 計画素案、④資料3 今後の予定について、⑤追加資料 事前質問等に対する回答、⑥差替資料 計画素案）
- ・本日も新型コロナウイルス感染防止対策として、委員の席の間隔を空け、パーテーションも設置している。さらに、会議は1時間程度の短時間で開催としますので、ご協力ください。

2 議事

(1) 介護保険の仕組みについて

- ・事務局より資料1を説明

<質疑応答>

委員長： 大きくは分かっても細かい部分はなかなか分かりづらいところもあるかもしれませんが、皆様からご質問等ありますか。

委員： 新型コロナウイルスの影響で介護保険の事業をやめられた現状がある中で、保険料の決定に大きな影響があるのかどうか教えてください。

事務局： 市内では新型コロナウイルスの影響で休止している介護保険のサービス事業所はありません。介護給付費の執行率ベースでは、昨年度とほぼ同様の水準で執行している状況です。

委員長： この仕組みについて、細かい部分は分かりにくいところがあるかと思いますが、大枠の部分でご理解いただけたらいいと思います。

(2) 計画素案について

- ・事務局より資料2、追加資料及び差替資料を説明

<質疑応答>

委員長： 計画の素案ですが、何かご質問やご意見などいただきたいと思います。委員会としては、ここが中心部分になると思います。

委員： パワーリハビリ教室では、シニアトレーナーの養成講座においてサポーターを育成して運営に関わっていただいています。しまトレーナーの育成でも具体的な計画がありますか。私の町内で毎週開催されているしまトレでは、民生委員・児童委員の方がだいたい40～50分の間、市が提供するDVDを見たり、その方が工夫された運動等を実施しているようです。統一したトレーナーの育成となれば、運動が具体化されて、参加者に呼びかけやすくなるのではないのでしょうか。

事務局： しまトレーナー養成講座については、計画素案の73ページに掲載しています。「(14) しまトレ推進事業」において、しまトレーナー養成講座については、今年度から年2回実施するように計画しています。養成人数については、1年につき60人、1回あたり30人の養成を考えています。

委員： 現在、パワーリハビリ教室ではサポーターが約90名と養成講座に参加されている方が8名おり、100名弱のサポーターがいます。そのサポーターにもしまトレーナー

への参加を呼び掛けていきたいと思ひます。サポーターの方々には、高齢者を対象として器具の使い方やコミュニケーションの取り方も教えているため、しまトレナー養成講座への理解もあると思ひます。

委員長： サポーターがしまトレに関わっていただけることはいいことだと思ひます。

委員： しまトレの件について、「令和5年度までにすべての自治会に」と書かれていますが、どのようにすべての自治会に呼び掛けていくか教えてください。

事務局： しまトレを進めているのは、包括ケア推進課と高齢者あんしんセンターです。しまトレを地域に普及させていくことが高齢者あんしんセンターの重点項目となっていて、担当地区のすべての自治会へ呼び掛けて広めていこうと考えています。

委員： 現在、取り組んでいない自治会だけではなく、実施していても不十分な自治会にも呼び掛けていただきたいと思ひます。

委員： 私は、今、居場所をやっていますが、居場所をやりながら、しまトレを進めていく、また、高齢者を集めるチャンスにしまトレを取り入れるなど、その都度、しまトレを取り入れていくことが広がる機会になると思ひます。そこで一度、体験すれば理解が深まるので、いろいろなところで自治会が主体となってくれれば活気につながると思ひます。

委員： 私自身は地域ふれあい事業の代表を務めています。地域ふれあい事業の参加者は、女性ばかりで男性の参加者がありません。ぜひ、男性がしまトレナー養成講座に参加して、教える立場になっていただければいいなと思ひます。新型コロナウイルスの影響で公会堂が使えなくなると活動ができなくなってしまいます。安全対策をしっかりとっていれば、認めていただいて活動ができればと思ひます。高齢者が感染するとリスクが高いことは十分承知していますが、簡単に閉じられてしまうのも残念だと思ひています。

委員長： 集会場が閉じてしまうと、今までやっていたことがストップしてしまい、次に出かけることも、おっくうになってしまうと思ひます。第三小学校区の地域福祉活動の立場から、介護予防についてご意見があればと思ひますがいかがでしょうか。

委員： 第三小学校区の地区社協として、11年ぐらい前から活動をしています。他の町内でもぜひ、介護をうける前にみんなで参加するようにして、自立度の高い高齢者を目指して、支えられるより支える側の方に立って、元気に長生きするように全体で取り組んでいただきたいと思ひます。

委員長： しまトレについては、自治会や各地域の民生委員・児童委員や地区社協、子ども会など様々な関係の方々やタイアップしながら進めていくことが有効だろうと思ひます。そうしたきっかけづくりや応援を高齢者あんしん支援センターや市などが行っていたら、地域の中で連携しながら取り組むことができればと思ひます。そうすることで、健康寿命が伸びていくのだと思ひます。介護予防についてお話がありましたが、その他にご質問やご意見などありますか。

委員： 介護予防の件ですが、以前も話をしたとおり、男性の参加率が非常に低いです。そ

うした取組に参加することへの気持ちはお持ちかもしれませんが、男性がいかに様々な集まりに参加していただくかが課題です。男性は、長年仕事をしてきた中で、リタイア後はのんびりしたい。会社という組織でのコミュニケーションはできるけれど、地域でのコミュニケーションは土日しか自宅にいないので、ほとんどありません。そのような中で、地域の集まりに出てくださいと言ってもなかなか出づらい。そのため、男性にお願いする場合は、役割を明確にし、皆を引っ張ってくれとお願いして、参加を促すようにしています。その結果、健康寿命につながるのではないかと考えています。様々な対策があると思いますが、良い知恵があれば教えていただけたらと思います。

委員長： 地域で活動しようと思っても、男性の参加が厳しい状況ということです。男性の参加を促すためには、ただ参加してくださいと言うのではなく、力を借りたいとお願いして参加していただくというお話がありました。そうした意味では、例えば島田市の歴史を語っていただく、専門について話をしていただくことで参加しやすくなるかもしれません。それをきっかけとして、レギュラーになっていただけるかもしれません。計画素案の中で、サービスを提供している側、相談支援事業にあたっている側、サービスを受ける側など様々な立場からご意見等をお願いします。

委員： 男性の参加率が低いことですが、男性はグラウンドゴルフなどの運動をすることについては非常に参加する方が多いです。そして、男性は70歳を過ぎても働いている方が多いです。男性は今なお必要に迫られて働いている方、生きがいを持って働かれている方がいると思います。一概に恥ずかしいから参加しないということではない方がいると思います。私たちがやっている地域ふれあい事業でも、30人くらいの参加者のうち2人くらいしかいません。みんなで支え合っていないと男性の参加率の向上にはつながらないと思います。また、自治会の役員の担い手が不足している状況です。指導的な立場というか上に立つとたいへんなので、なりたくない人もいます。

委員長： 介護予防を地域で行うためには自治会や民生委員・児童委員などの力が必要になりますが、担当になると忙しくなる、たいへんだということから、担い手がないという課題があります。この課題は、将来を見据えて子どもたちの課題として考えていかないと、さらにたいへんなことになるのではないかと思います。それでは、素案についてのご意見はこのくらいにしたいと思います。それでは次に進みたいと思います。

(3) 今後の予定について

・事務局より資料3を説明

<質疑応答>

委員長： 今後の予定について説明がありました。何かご質問等ありますか。ないようですので、今後のスケジュールについてご承知いただきたいと思います。パブリックコメ

ントは計画素案を公表するのですか、それとも概要版を公表するのですか。

事務局： 資料2の計画素案を文字や数値の見直しを行った上で、公表しようと考えています。

委員長： 高齢者の計画に関わらず、パブリックコメントを実施した際の市民からの反応はどうでしょうか。

事務局： 計画によって反応は様々ですが、現行計画では、一人から3件の意見をいただきました。本計画においても多くのご意見をいただき、反映できるものについては反映していきたいと考えております。

委員長： ぜひ、委員の皆様においても、パブリックコメントを実施していることを様々な方へご周知いただき、一人でも多くの方に見ていただきたいと思います。以上で、本日の議事は終了したので、進行を事務局へ戻したいと思います。

3 閉会

・第5回策定委員会：2月4日（木）保健福祉センター3階研修室にて午後7時から開催予定